

まち・ひと・しごと創生 総合戦略  
第2期（令和4年度事業分）  
主要プロジェクト  
**<<外部検証>>**

（ 評価 及び 意見 ）

令和5年3月

## 外部検証（評価）

No	プロジェクト名	評価
1	いいでの子大したもんだプロジェクト	B
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	B
3	町民総主役化プロジェクト	B
4	いいで田園ルネサンス	B
5	子育て世帯への総合的支援	B
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	B
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	B
8	結婚の希望の後押し支援	C
9	移住・定住、田園回帰の加速化	B
10	確かで柔軟な住環境整備	B
11	新たなツーリズムの創造	B
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	B
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	B
14	域内循環社会の構築	B
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	B
16	「日本で最も美しい村」づくり	B
17	スマートカントリー構想の実現	C
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	B
19	こだわりの産業を創る商工業基盤の強化	B
20	バイオマス産業都市構想の推進	B

## 外部検証（意見）

No.	プロジェクト名	意見
1	いいでの子大したもんだプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 数値にとらわれず、長い目で自ら学び考える子供たち育てる環境を作っていくことが重要。KPI の数値の達成度合いがインジケターになるか疑問。</li> <li>✓ 事業目標/将来ビジョンに「学力向上ではなく」とあるが、算数・数学難問クイズの実施や各種検定の受験は、それに対して逆行している感じがした。むしろ、SDGs 学習発表会で社会課題への興味関心をより高めていくことが、目指す町の姿にある「心の豊かさ」につながるのではないかと。そして、その点からすると、内部評価にもあるように学習発表会・活動発表が昨年度から減ったのはなぜか、と思う。その理由がわかることで、対策すべき点も見えてくると思う。</li> <li>✓ ※参考までだが、ブルックリンの小学生がプラスチックの汚染問題に主体的に取り組んだドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る 2050 年」 (<a href="https://www.microplasticstory.org/">https://www.microplasticstory.org/</a>) というものがある。SDGs 学習発表会をクラスごと個別に発表するのも良いが、全学年でこのような子ども主体の取り組みをするのも「大したもんだ」と注目されそうである。</li> <li>✓ 中間年度累計目標値(以下単に「目標値」と記す。)を達成している。あらたに目標を設定してもよいのでは。</li> <li>✓ 着実な活動は評価できるが、「飯豊町に愛着を持つ」「飯豊町特有の生きる知恵身に着ける」とはどういうことかきちんと定義した上で、今後の活動を考えていかなければならないと感じた。</li> <li>✓ まち歩きワークショップは、町の魅力を体験するのに効果的。工業、農業、林業などの見学もぜひ取り入れて。天文台の活用も。</li> <li>✓ 算数・漢字検定など町内で出来るようになったことがとてもよいが、SDG s の発表はもっと期待したいところ。</li> <li>✓ SDG s の学習や検定への挑戦など、学校教育での取り組みの成果が上がっている。社会教育での町を知る学習の充実に期待したい。</li> <li>✓ 数検、漢検、難問クイズも良い取り組みだと思うが、「自分で物事を考える力」の育成をどう図るか。</li> <li>✓ 小中学生対象の算数数学検定 51 人 / 467 人、漢字検定 19 人 / 467 人は適正な数字なのか。</li> <li>✓ 検定資格は一生モノなので継続して補助等の事業をお願いしたい。</li> <li>✓ 人間力向上がプロジェクトテーマに思えるが、学力向上対策の記述が目立つ。コロナの影響もあるだろうが、プレゼン能力向上対策の実施数減少も気になる。</li> <li>✓ 中学校でも難問クイズの表彰がされたりして子供たちも楽しんで取り組んで</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>いると感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業目標と内容に相違あり。(学力向上の点)。自分で物事を考え、行動し、解決できる力を育ててほしい。</li> <li>✓ 若い世代(10代から30代)の考えを聞いて失敗を恐れず全て担わせる事業を行い、将来の担い手を育ててほしい。</li> <li>✓ 地場に産業が少なく、仕事として生活のもととなる目標がない。</li> <li>✓ 小中一貫教育を目指す中で他校間交流の場を増やしてはどうか。</li> <li>✓ 「いいで」となると、ほかとの区別を図るために特徴のある事業を行うべきと思う。</li> <li>✓ 「いいで」の歴史や文化を学ぶことは有意義であり、また地域の行事(ヤハハエロ・お祭りなど)に家族で参加することいいことだと思う。</li> <li>✓ SDGsについては「いいで」との関係性が弱いと思う。世界的な取り組みであり、プロジェクトとして目標を決め行う事業なのか。子供たちにとって国語や算数などを学ぶことと同じであるのでは。</li> </ul>
2	豊かで活力ある地域コミュニティの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域作り団体の飯豊農村未来研究所の設立は、評価できる。しかし、町民からは全く活動が見えない。</li> <li>✓ いいで農村未来研究所は今後期待したい</li> <li>✓ 自己分析(Check)の解決すべき点、プロジェクトの方向性の見直し(Action)の箇所に「集う場所づくり」という言葉が出てくるが、私はそれを「居場所づくり」と捉えた。「居場所づくりは」行政主導では、なかなかうまくいかないものである。テーマを設け対象者をカテゴライズすることが、集いにくさを生むからである。そこで重要になるのは、居場所づくりをしたいと思っている地域に潜在的にいる住民にむけて「市民活動」の学びの機会を創出する、もしくは小さなNPO活動をしている人びとを支援することが重要と考える。私自身、飯豊町に戻ってまだ数か月だが、すでに私のところには居場所づくりをしたいと若者が2人相談に訪れている。他にも点在するそのような人々を発掘し、町民主体の活動を創出する支援をしていくことが、多くの町民を巻き込んでいく秘訣ではないかと考える。</li> <li>✓ 自己分析(Check)に「公民館を若い人になじみのある場所に変える」とあり、それもひとつだが、自身のこれまでの居場所づくりNPOの経験からは、空き家などを活用し行政色を消すことによって、若い人の活動拠点としてのハードルが下がるような気がしている。</li> <li>✓ ※参考までだが、朝日町の地域おこし協力隊が主になって活動しているゲストハウス松本亭の取り組みあたりがヒントになるかもしれない。</li> <li>✓ ・地域づくりの70万円というのは主体的に使われているのか？受動的な</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>消化にはなっていないか現状を知りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ・数値目標の「地域づくり活動報告団体数」が 2025 年の累計目標として 15 団体というのは、現状からして厳しい気がする。</li> <li>✓ ・女性蔑視がまだ残るこの町で女性の担い手の育成となると、町民でジェンダーについて学んだり考えたりする機会も必要なのでは？と思う。</li> <li>✓ 目標値の 3 割以下である。個人的には研究所が実態に即した提案、活動が可能か見ていきたい。</li> <li>✓ 地域づくりを行う人材育成については、枠組みだけが先行して土台ができていないように感じる。目的を明確にして、飯豊町のリソースの中で優先順位付けをすべき。</li> <li>✓ コロナ禍による制約が解け、地域固有の活動（お祭りや花見など）が復活することに期待。</li> <li>✓ いいで農村未来研究所が設立されたのはよいが、これからの事業内容や住民への周知が大事。</li> <li>✓ コロナ禍の中、人が集まることへの制限が大きかった。これからはいよいよ「地域づくりセンター」の活動が活性化できるのではないだろうか。</li> <li>✓ いいで農村未来研究所では水害対策のテーマに注力しすぎに思います。</li> <li>✓ いいで未来カフェ、いいで農村未来研究所での人材育成基盤はどんな内容か知りたい。</li> <li>✓ 「いいで農村未来研究所」周知されていない。</li> <li>✓ 少子高齢化や住民意識の多様化等で、実際の地域活は低下傾向にあるのでは。</li> <li>✓ 未来カフェのメンバーの頑張りがあまり伝わってこなかったので発信のほうにも力をいれてほしい。</li> <li>✓ 子育てをしている親が独立する場が見えず、年齢間の関係が薄れている。</li> <li>✓ 地区ごとの公民館活動にばらつきがあり、アンケート集計発表後のアクションがない。</li> <li>✓ 地域づくりということで各まちづくりセンターに丸投げになっていないか。</li> <li>✓ まちづくりというと敷居が高いような気がする。女子会のように気軽に集まれる場所や機会を考えられないか。お茶をしながら、ただの「だべり」から始めてもいいのでは。</li> </ul>
3	町民総主役化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地区や集落での関わりが重要と思います。地区町づくりセンターとの連携が重要。</li> <li>✓ プロジェクト 2 で居場所づくりに触れたが、ここでも同じような意見である</li> <li>✓ 令和 5 年の事業内容が計画に沿って進められ、サードプレイスが創出され</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>ることを期待している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 内部検証を見ていると「居場所」の重要性や役割が理解されていないと感じたので、「居場所」とは何か？ サードプレイスとは何か？を内部検証をされる方々も知る機会が必要だと感じた。飯豊町の豊かな自然資源を生かした居場所づくりには伸びしろしかないと思うのに。需要がないのは「居場所」の良さを知らないからであり、それを体感・実感してもらうことが重要と考える。本当に生きづらい人というのは「居場所」がないのだから。</li> <li>✓ 方向性の見直し(Action)に関しては、とても良いと思った。</li> <li>✓ 事務事業の見直し検討の部分だが、「多様な」という点では、声を上げることのできない生きづらさを抱えた(不登校・ひきこもりなど)住民のことも忘れないようにしなければならない。</li> <li>✓ いいでマルシェの賑わいには驚いた。駐車場までの長い渋滞が発生していたほどであった。今後も楽しみである。</li> <li>✓ 目標値の3割以下である。個人的には「事業が見えない」</li> <li>✓ 2.と同様に枠組みだけが先行している。もう少し施策を絞って、一つ一つの活動に参加する住民へのサポートを強化すべき。DOばかりになっている印象。</li> <li>✓ プロジェクト2と関連付けるとより効果があがるのではないかな。</li> <li>✓ いいで未来マルシェは沢山の人でにぎわい、お客さんの期待がとても高かったので、ぜひ次回はもっと時間をずらして長くイベントやお店がでるとよいと思う。</li> <li>✓ 「いいで未来マルシェ」のような女性や若者が活躍できる場があったことは、評価したい。そこからさらに発展できるよう、行政で後押ししてほしい。</li> <li>✓ いいで未来カフェの取組みはとても良いと思います。</li> <li>✓ 前回の子ども議会に参加して、小中学生によるアイデアはとても素晴らしかった。高校生も含めて若い人の考えを今年の議会に期待。</li> <li>✓ 生活意識が多様化する中での総花的な対応に陥りがちなテーマなため、具体策を積み上げていくことが肝要と思います。</li> <li>✓ チラシを配布してもほとんど見てもらえない。いかに情報を共有できるか問題である。</li> <li>✓ 参加する人が限られているように思う。周知する方法、企画も課題がある。</li> <li>✓ いいで未来カフェやいいでマルシェなど、今までの飯豊町では見なかったものが始まっていることは評価したい。</li> <li>✓ 他人事を自分事にが一番難しい。</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
4	いいで田園ルネサンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自然や伝統を継承していく各講座の開催は有意義、それぞれに参加者数や有効性を検証しながら継続して欲しい。</li> <li>✓ 令和 3・4 年度の事業内容は、とても魅力的で効果があったものと思う。当時は町外に住まいしていたが、それでもかなりの情報は目や耳にした。子どもたちも、自分のふるさとへ自信が持てたと思う。</li> <li>✓ 令和 5 年度は、若者たちに人気のキャンプに力を入れるとあり、移住者の期待にも高まりを感じた。</li> <li>✓ ひとつの提案であるが、キャンプに加えて、子どもたちのためのプレーパークがあれば、家族での移住を考える人も出てくるかもしれない。</li> <li>✓ 目標値の 3 割以下である。数値目標の指標と実際の事業が合っていないのでは。このまま事業を継続するなら指標を変えるべき。</li> <li>✓ 住民がどのようにかかわっていくのが不明確。外部から見るときに価値を感じるものを、地元の人が価値に感じるように変換していくことが大切ではないか？</li> <li>✓ 中津川の魅力によるところが大きい。交通の確保が必須。田園以外の活動が大半。“田園”の名称を再考してはどうか。</li> <li>✓ 「暮らす」をテーマにカヌー体験などで飯豊町の良さを再確認できてとても良いと思う。飯豊町の間伐材で雪板などつくって体験もよいかと。</li> <li>✓ コロナ禍が影響しているためなのか、数値目標に対する実績が 0 なのはさびしい。また、プロジェクトの内容がよくわからない。</li> <li>✓ 今後さらに民間団体とも連携しながらイベント等の開催も期待しています。(カヌー、キャンプ)</li> <li>✓ 少子化が進み、各地区の伝統文化の継承が困難になりつつあるが、ぜひ残したい。そのためにはなにをすべきか。</li> <li>✓ 対策以前に現状維持が追い付かない。農地や山林等、見える化が必要。</li> <li>✓ 評価シートの方角性の検討は難しい課題ではあるが、多いに期待します。</li> </ul>
5	子育て世帯への総合的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 課題は農村の構造的な問題なので、思い切った施策や支援を部門横断的に実施する必要がある。目先のわずかな子育て支援では課題は解決できない。</li> <li>✓ こんなにたくさんのきめ細かなことが行われていることを知らなかったのも、個人的にはとても評価できた。が、内部検証を見てみると、ニーズには完全には応えきれていないのだとわかった。</li> <li>✓ 自身が山形市で運営する N P O の食糧支援に飯豊町在住のひとり親(3 世帯)から支援の要請があり、継続対応した。町内のひとり親家庭への</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>支援は充分であるのか？ひとり親で子育てしている方の相談窓口はどうなっているのかと気になったので、子育て世帯の中にひとり親を取りこぼさないでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 内部検証の意見に書かれていた最後の意見（子育てに優しい～）の意味が理解できなかった。</li> <li>✓ 指標 3 つのうち 1 つが既に達成。事業が見えやすい。</li> <li>✓ ニーズを調査した上で、それをしっかり活かしてもらいたい。</li> <li>✓ プロジェクト 15 と関連付けて考えてみたい。各年代の人々がそれぞれに支え合えるような環境作りが必要。</li> <li>✓ 保育園利用や学童利用が増加の中、人手や場所など受け皿も大きくする必要はある。</li> <li>✓ 「放課後子ども教室」のような取組みが始まったことは大変良かった。地域学校協働活動推進員が全学校に配置され、更に広がり期待できる。</li> <li>✓ 放課後子ども教室のような新たな取組みに期待しています。</li> <li>✓ 男性育休の成果が少し現れたと思う（2人）</li> <li>✓ 学童クラブの教室内容には疑問の声が一部聞こえる。要因の把握が必要では。</li> <li>✓ 町民にもウィンウィンな数年後を見据えた支援が必要では。</li> <li>✓ 公園などが無く、他の子育て世帯の方と気軽に話せる場が少ないと思う。</li> <li>✓ 事業内容は十分。個別に支援が必要な子供たちへの専門窓口や相談員の配置など地域一体で支える体制確立を。</li> <li>✓ 金銭も大切だが、学童保育や時間外保育等、親の動きを助ける必要がある。</li> <li>✓ 改善すべき点は多いが、継続しての効果は期待します。</li> </ul>
6	一人ひとりに寄り添う社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和 4 年度の事業内容③のような拡充はとても大事なことだと思うので、高く評価したい。</li> <li>✓ 令和 4 年度の事業内容⑤の研修も生きづらさを解消していくような地域の機運醸成に効果があったと思う。</li> <li>✓ いわゆる「ひきこもり」は社会の視線によって「ひきこもらされている」ということが、地域住民の理解につながるような事業を期待したい。令和 5 年度もゲートキーパー研修が継続されるとのことで、よかった。</li> <li>✓ ワンストップの相談窓口が設置されたことは高く評価したい。山形市社協の「まるごと相談」のような窓口であると認識しているが、そこは相当な結果を出していることから、十分に期待できると思う。</li> <li>✓ 学校に行きにくい子ども(不登校)の子どもたちの学校外の居場所や学び</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>の保障について触れられていないのが残念である。自殺防止の側面からも重要事項であると受け止めていただきたい。また、不登校の子どもたちが早い段階で、さまざまな社会資源とつながることが、将来的なひきこもりになることを防ぐことにもなるので、見直していただきたい課題である。誰一人取り残さない町であるために。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 指標 3 つのうち 2 つが既に達成。資料を見る限りでは、なぜ自己評価、内部評価が B なのか疑問。</li> <li>✓ 制度の認知拡大の施策をきちんと具体化してほしい。</li> <li>✓ 困りごとの情報集めに民生委員の役割が大きいのでは。</li> <li>✓ 認知症サポーター講座を学校に位置付けるには、教育委員会と連携してカリキュラム作成をしてはどうか。</li> <li>✓ あゆむいいでの設立はとてもよい。今まで町外に出ていた子供も町内で送迎もあり手厚いと思う。</li> <li>✓ 災害発生を想定した訓練を大字単位で計画し、その結果を町全体で共有できないものか。</li> <li>✓ 成年後見制度、認知症サポーター等、周知不足を感じる。</li> <li>✓ 3 世帯、4 世帯が多い中、核家族でも小中学校での認知症についての講座と実践を。</li> </ul>
7	町民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 数値目標に向けての具体性が現段階では見えないが、次年度以降に行われるものと期待したい。</li> <li>✓ 指標 4 つのうち 3 つが目標値の 3 割程度達成。事業が見えやすい。指標としている「アプリ」は早期に目標から降ろしてはいかがか。もちろん、理由、説明は必要だが。</li> <li>✓ 親子で参加できる体力測定イベントのような参加して面白いと感じてもらえるような企画を実施するのはどうか？</li> <li>✓ ポイント制は興味を引くに効果的。スマホアプリによる“歩くポイント”を町独自で作れるでしょうか。</li> <li>✓ コロナ禍でも白川マラソンで沢山の人が集まりにぎわった。参加賞や景品もよい。その他の事業や健康ポイントなどはもっと周知が必要。</li> <li>✓ 100 歳体操やいきいきサロンは実施はされているが、地区協議会との連携の計画はできないのか。</li> <li>✓ ウォーキングマップを利用して、少なくとも年に 2 回くらいは実施したい。（春の緑を、秋の赤等を目で見て、肌で四季の移り変わりをのんびり歩きで感じてもらいたい）</li> <li>✓ コロナの制限が緩和されてきているので、以前のイベントの見直し（with</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>コロナ) +αで、町民みんなで楽しめることを期待。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コロナ禍の難しい事業運営だったのでは。収束の兆しも見え始めた今後の多角的な運営に期待します。</li> <li>✓ 年代問わず参加できる事業計画をする。デジタルを活用して参加すればポイントをもらえて町内で使用する方法。(勤労者、若い人)</li> <li>✓ 地域によって差が大きいと感じる</li> <li>✓ アプリを活用しての健康づくりに期待します。</li> <li>✓ ウォーキングやマラソンの運動に限らず、ポッチャやモルックなど子どもから高齢者までできるニュースポーツを活用することで、年齢層も広がるのではないかと。</li> </ul>
8	結婚の希望の後押し支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 豪雨災害により、中止になった事は理解できる。すぐ実績に結びつくものではないが今後期待。</li> <li>✓ 予算の都合があるようなので、現段階では山形県で実施している事業(縁結びたい)を活用していくのが良いと考える。(ちなみに、自身も数年前に民生委員さんよりすすめられ登録し、2回お見合いしました。)</li> <li>✓ 若者中心の市民活動が活発になることで出会いも増えていくと思うので、多様な生き方が認められるような地域づくりをすることも土台としては大事なことかと思う。</li> <li>✓ 必要な事業だと思うし、災害があったためというのも理解できる。しかし、令和4年度で見れば、当事業は目標指標に掲げた事項の実績は全くないのであるから「D」とするべきだと思う。</li> <li>✓ カヌーでの婚活イベントのようなレジャーを絡めたイベントを増やしていくべきだと思う。(キャンプ・登山・星空観察など)</li> <li>✓ “婚活”に限らずスポーツやキャンプなど共通の体験を通して若い人、独身の人たちが交流できる場があるといい。</li> <li>✓ 町内だけでなく県内や県外とも連携する必要があるのでは。</li> <li>✓ 婚活イベントという名に抵抗を感じてしまう人も少なくない。ネーミングの工夫が必要。</li> <li>✓ 他のプロジェクトの令和5年度の予算欄が空欄なのに対して0記載となっていますが、要求なしなのでしょうか。</li> <li>✓ 結婚したいが、事業に参加できない人も多い。商工会・企業と連携して良いイメージを育ててほしい。</li> <li>✓ 仕事も場が増え、若者が増えればかなり改善されるのでは。</li> <li>✓ 企業から協力も必要では。</li> <li>✓ 未婚の人数の把握、そのうちで本当に結婚を望んでいる人がどれくらいいる</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		のかが大事かと思う。
9	移住・定住、田園回帰の加速化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コロナ禍で地方移住を望む人々が増える中、特に飯豊町には若者の働き口が少ない。自身の娘は、山形は給料が安いというえ、やりたい仕事がないと大学卒業後は県外に行ってしまった。もう一人の娘は19歳で飯豊町に転入したが、全く歓迎されるムードもなかった。UターンIターンが使えるサービスや制度がないか役場に尋ねたが、何もしないとのこと。せっかく娘が飯豊町を選んでくれたが…今後、転出してしまう可能性が高いと持っている。</li> <li>✓ 身近でもテレワークが増え、働く場所を選ばない時代になってきた中、移住者の雪の課題への支援を考慮しつつ、飯豊町を居住地として選んでもらえるように令和5年度の事業に期待したい。</li> <li>✓ 参考までだが、朝日町では若者を地域でフォローし新規就農（りんご）の移住者が幸せに暮らしている様子がある。</li> <li>✓ ひとつの提案であるが…東北芸術工科大学の学生と共に活動する機会を多く持っており、そこにはユニークな学生が多く、一般的なライフコースを選びたくない学生も一定数いる。在学中にそのような学生にアプローチし、飯豊町の自然資源×芸術×社会課題を何らかの形にできるような、しかもそれをナリワイにできるようなことが実現したらワクワクする町になりそうな気がする。</li> <li>✓ 事業は展開しているのに、数値目標に現れない。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。</li> <li>✓ 空き家を活用したお試し移住（1週間～1か月）ができる仕組みがあればどうか？</li> <li>✓ 都会へのイベントや事業周知で飯豊町を知ってもらい、来てもらうことが重要。</li> <li>✓ 様々な取り組みが行われているのに、実績値が0のまま。数値目標は適切だろうか。</li> <li>✓ テレワーク拠点については、新たな施設をつくるよりも、あ～すなど既存施設を利用しやすいようにしてはどうでしょうか。</li> <li>✓ 起業支援として最上地方で行っている「最上イノベーションエクスキュート」等を参考にしてみてもいい。</li> <li>✓ 車を保持していないと生活が難しい。交通機関不足をどう解消していけるのか。</li> <li>✓ 克雪やインフラ整備等お定住促進の問題点は大きい。2・3世代同居の問題もプラスマイナス両面あり、新婚時と子育て世代とは親世代への評価が違って来るようではあるが、同居は決して望んではいない。</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 移住定住するにも町民が生き活きと生活している姿を農業希望者等に担当者と共に農家へ行き、説明するのはいかがか。</li> <li>✓ 暮らせる町としてのアピールを強化していく。</li> </ul>
10	確かで柔軟な住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 飯豊型エコハウスの実績が伸びない事に対する課題の検討が必要では。</li> <li>✓ 若者が単身で入れる賃貸物件が不足しているという課題を多く耳にしている。事業が計画通りに進むことを期待している。</li> <li>✓ 目標値の3割以下である。新築エコハウスを指標にするより、改築(リノベーション)を指標とするべきでは無いのか。</li> <li>✓ 住む場所がきちんと提供できれば、飯豊に住んでもよいという方は一定程度いる。</li> <li>✓ プロジェクト5・15と関連付けて考えてみたい。各年代の人々がそれぞれに支え合えるような環境作りが必要。</li> <li>✓ 空き家をもっと自由にリノベなどして活用できること、空き家マップなど一目でわかるものが必要</li> <li>✓ 空き家対策は今後ますます重要になってくる。プロジェクトを推進してほしい。</li> <li>✓ 空き家バンクに登録されていない空き家をどうするのか。</li> <li>✓ 自分の周りでは、空き家を再利用している人が増えていて、良いことだと感じている。</li> <li>✓ 老朽化していく空き家の景観にも注意してほしい。</li> </ul>
11	新たなツーリズムの創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 飯豊町観光協会を中心とした頑張りを目に見える形で感じている。</li> <li>✓ 地域おこし協力隊の活動がいまひとつよくわからない。</li> <li>✓ 当事業は目標指標に掲げた事項の実績は全くないのであるから「D」とするべきだと思う。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。</li> <li>✓ 飯豊には魅力あふれるスポットがあるので、是非継続して取り組んでほしい。KPIが事業の成果ときちんと結びついていないので、直すべきだと思う。</li> <li>✓ 素晴らしい資源がたくさんあるので期待が大きい。プロジェクト4と同様に交通手段が課題。</li> <li>✓ 中津川はとても魅力的だが、頼りすぎずにほかに町内でももっと増えることに期待。</li> <li>✓ 水没林を活用した地域ブランディングや地域観光に更に力を入れてほしい。観光は日本にとって重要な産業になると思います。</li> <li>✓ ゆり園の観光客に町内どこに行ってもユリが咲いているところを見せたい。数</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>年前に各家庭にユリが配られたが、そうではなく、何年も続けて、飯豊のユリはすごいといわれるような取組みを。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「ほほえみカー」の運休日が多く、利用しづらいという声を聞きます。運休日を減らすことはできないのでしょうか。</li> <li>✓ 観光地にキッチンカー事業など町民にお金を使ってもらえるような対策を。キャンプ地整備や食材を安定生産して販売できる状況の確保を。</li> <li>✓ コロナ前の人流になりつつある中、体験型ツーリズムを多く取り入れてはどうか。</li> </ul>
12	人をつなぐ、心をつなぐ交流と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業は展開しているのに、数値目標に現れない。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。</li> <li>✓ プロジェクト 11.と連携した取組みを進めてほしい。アンテナショップの効果に関しては、正直疑問が残る。飯豊町単体でアンテナショップを持つことの意義をしっかりと説明してほしい。</li> <li>✓ コロナ禍でも、外語大と交流したり、高円寺ハーヴェストなど面白い取組み</li> <li>✓ 最後の「方向性の検討」の中に“目標値の変更”とあるが、目標値の見直しは他のプロジェクトでも検討すべきではないだろうか。特に実績 0 のもの。</li> <li>✓ ふるさと納税には更に力を入れる（納税額の増加を目指す）予定はないでしょうか。</li> <li>✓ メディアで、もっと取り扱っていただくと宣伝効果があるのではないのでしょうか。</li> <li>✓ 飯豊町の魅力を情報発信していくことが大切。</li> </ul>
13	魅力的で活力ある、力強い農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業は展開しているのに、数値目標に現れない。それにもかかわらず自己評価は A、内部評価は B。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。</li> <li>✓ 市場のニーズに関する視点で書かれていないので、現在進めている事業が本当に効果のあるものなのかが不安。KPI の達成度と自己評価の高さもあっていない。</li> <li>✓ 新しい取組みに期待している。</li> <li>✓ 豪雨で田畑に被害をうけて来年度農業をやめる人がでる可能性があるので、農業が衰退しないように支援や対策が必要。</li> <li>✓ 農業従事者の高齢化、担い手不足を考えると、あと 5 年、10 年先の農業経営に不安がある。ましてや、今年の豪雨による水田、水路の壊滅的被害が加わり、先が見えない。</li> <li>✓ 「農村」、「田園」を守るには農業従者がいなければ成り立たない。農業従</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>者に対する補助金等、恩恵があれば継続できるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 農林業は町の基幹産業であるものの、米価の低迷、農業資材の価格高騰、担い手不足等環境は厳しい。プロジェクト5, 15等との関連性も考え合わせると、その浮沈は飯豊の将来像を決定づける重要課題ともいえる。経営の集約化や飯豊の名を活かしたブランドイメージの構築等できないものか。</li> <li>✓ 大規模農家に関しては動きが見えますが、第一歩を踏み出すための小規模農家の動きが見えてこない。</li> <li>✓ 農業従事者の高齢化、担い手不足は深刻。省力的作物やスマート農業に力を入れてもそれをやる人がいなければ効果は弱いと思った。</li> <li>✓ 事業が畜産と農業に偏っていないか。</li> </ul>
14	域内循環社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 現状分析に記載のある畑のない家庭への電動生ごみ処理機について、予算化が実現することを期待する。若い親御さんたちの意識も高まりそう。</li> <li>✓ 必要な事業だと思うし、災害があったためというのも理解できる。しかし、令和4年度で見れば、当事業は目標指標に掲げた事項の実績では「C」とするべきだと思う。本来、このプロジェクトでは「災害廃棄物」も計画に包含し、指標に追加するべきでは無いか。</li> <li>✓ 継続的に取り組んでほしい。</li> <li>✓ くるくるショップの活動をぜひ拡充してほしい。CO2削減には、何が適切なのか（太陽光パネル？、ペレット？）車も含めて電化生活はエコなのか疑問。</li> <li>✓ くるくるショップからリサイクルやごみ減量が広まることを期待。</li> <li>✓ 地域おこし協力隊の活動に期待したい。</li> <li>✓ 充電スタンドはどこに新設予定ですか。</li> <li>✓ 目的はしっかりしていると思うので、町民への周知、成果の報告もあって良いのでは。</li> <li>✓ 補助金の周知不足では。手続等、情報を欲しい人がわかりづらい。</li> <li>✓ 子どもたちにもSDGsが浸透している。続けることが大事だと思う。</li> <li>✓ 具体的なものが見えない。</li> <li>✓</li> </ul>
15	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 今後は世帯を超えた部落にとられない共助のような居場所が地域の人々のセーフティーネットになっていかざるを得ない。気軽な共生食堂(子ども食堂など)のようなものを気持ちのある人たちで立ち上げていく必要があるのではないか。立ち上げ支援(資金)で、気持ちのある人々を応援していくようなことができればいいと思う。</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 指標を見る限り目標に向かい順調に事業が遂行されているように見える。事業も見やすい。計画、目標、指標がもっともマッチしたプロジェクトだと思われる。</li> <li>✓ 継続的に取り組んでほしい。</li> <li>✓ 元気な高齢者が多いので、若い人や小中学生など子どもたちとも公民館などで交流が増えとお互いにもっといきいきとし、地域も活性化すると思う。</li> <li>✓ 町職員が地域に出向き、住民から聞き取りをすること、令和5年度はぜひ実施してほしい。</li> <li>✓ 一人暮らしの人たちのサロンが3月で終了することを残念に思っている方がたくさんいると聞きました。地区ごとの活動になるよう様ですが、抵抗があり参加しないという方もいます。今までと同様に続けられなかったのか。</li> <li>✓ 高齢者にとっては健康づくりと仲間づくりの意味合いもあると思うので、数多くのイベントを開催し、外に出る機会を増やしてほしい。</li> <li>✓ 災害時の避難グッズを地域ごと保管する。個人ごとに希望があれば公民館に置けるようにする（年／〇〇〇円）などの取組みはいかがか。</li> <li>✓</li> </ul>
16	「日本で最も美しい村」づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 景観の維持は重要であるが、高齢化や放棄地の増加などから、年々屋敷林や水田の維持が大変になっている現状がある。多様な対策が必要。</li> <li>✓ 田園景観を未来に残す活動の数々。とても評価できる。町外に暮らしていて気が付いたことは、飯豊町の星空がとてもきれいだということ。日中の景観だけでなく、夜の景観も美しいので何か活用できそうかも。</li> <li>✓ 指標3つのうち2つが目標値の3割程度達成。目標に掲げた「アーカイブ」も進めて欲しい。</li> <li>✓ 歴史資料のアーカイブ化が進んでいないが、どうする予定なのか？</li> <li>✓ 理念は素晴らしい。しかし、雪害により道路わきの並木は撤去。杉の葉はCO2排出を懸念して焼くこともできずに処分に困る。</li> <li>✓ 景観の条例化は慎重にお願いしたい。</li> <li>✓ 景観を維持するためには景観条例も早急に必要。ただ、人口減少で維持の仕方や方法も要検討。</li> <li>✓ 日本で最も美しい村のブランドを町全体としてさらに活用してはどうでしょうか。</li> <li>✓ 「農村」、「田園」を守るには農業従者がいなければ成り立たない。農業従者に対する補助金等、恩恵があれば継続できるのでは。</li> <li>✓ 昨年8月の豪雨災害で里山近縁部の環境劣化が進んだように思います。</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 町民ごみ拾いデーなど企画して町民を巻き込んではどうだろうか。</li> <li>✓ 屋敷林整備必要。景観を守るためのガイドラインは、美しい村づくりのデザインはあるのか。</li> <li>✓ 子どもの自由研究のテーマはぜひ実践を。</li> <li>✓ 廃屋が景観を阻害していると思う。人工物と自然の境界をしっかりとすることで、それぞれが強調されると思う。</li> </ul>
17	スマートカントリー構想の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 再生可能エネの利活用や普及は重要と考えるが、町民からは事業の進捗状況や効果が見えない。</li> <li>✓ 当事業は目標指標に掲げた事項の実績は全くないのであるから「D」とするべきだと思う。計画に無い事業をやっているのであれば、数値目標の指標を変えるべき。「ほほえみカー」事業にも多額の予算を使っているのだから、こういった経常業務の継続も目標指標に掲げてよいのでは。</li> <li>✓ デマンド交通は高齢化が進む中でとても重要。継続して行ってほしい。但し、事業のKPIが全く機能していない。達成するための方法を具体的に提案するか、KPIを見直すべき。</li> <li>✓ 新しい取組みにチャレンジしていることが素晴らしい。試行錯誤の状態から、それぞれの歯車がカチッとあったときの未来が楽しみ。</li> <li>✓ 再生エネルギー導入はなかなか難しいことだと思うが、電気代も高くなっている今、期待したいところ。</li> <li>✓ プラチナカーやE3の開発に町が取り組んでいることは、ほとんどの町民が知らないのではないだろうか。</li> <li>✓ 電気自動車の普及には先行する必要がある。</li> <li>✓ 設備の導入方法等、活発に情報発信していただきたい。</li> <li>✓ 数値目標の進捗率が思わしくないのではないか。</li> <li>✓ 大変厳しい課題ではあるが、交通手段に関しては一番身近なことなので期待したい。</li> </ul>
18	デジタル化を活用した強固な社会基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 社会全体のデジタル化に比べ、オンライン申請やオンライン会議・研修が進んでいない。軽微な事でも役場に来庁しなければならない。</li> <li>✓ マイナンバーの普及率が高く、どのような工夫をされたのか興味深い。</li> <li>✓ デジタル化が進むことは時間や経費の削減・人件費の削減にもつながることなので、計画に従い進めていただきたい。高齢者が多い中で住民にどのように浸透させるかは難しそうである。</li> <li>✓ 自身の法人で山形市からとある事業を受託しているが、すべてのやり取りをサイボウズのkintoneを利用している。紙ベースの書類の提出は年度</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<p>初めと年度末のみなので、とても効率が良い。また、その事業は住民と自治体の間をLINEが結ぶ形になっている。自治体でも使える業務プラットフォームを今後は活用するのも良いかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 指標3つのうち2つが目標値の3割以上達成。</li> <li>✓ DX化を進めるためには、システムの導入などは大事だが、運用するルールや運用する人の考え方を変えないと、無駄が残ったままになってしまうので、そこについても改善して欲しい。</li> <li>✓ e-Taxで手続きをした際にマイナンバーカードの利便性を実感した。様々な分野でもデジタル化を進めていただきたい。</li> <li>✓ デジタル化で様々な申請に書類や印鑑が必要なくなると、住民も利用しやすくなる。Lineが開始され、広報も気軽にみられるようになった。</li> <li>✓ Office製品の便利機能とはどんな組み合わせですか。</li> <li>✓ 年配の人にはまだ、デジタルは難しい。スマホ等のデジタルデバイスを持っていない人への対応が必要。</li> <li>✓ 高齢者に向けたシステムが不可欠だと思う。</li> <li>✓ 本委員会の資料の紙の枚数を手始めに本委員会から紙資料の削減を試みてはどうだろう。</li> <li>✓ 高齢者には紙信仰の人もあるだろう。スマホやパソコンなどを持たない人もいだろう。デジタル化一辺倒にならないように配慮は必要と思う。</li> </ul>
19	<p>こだわりの産業を創る商工業基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 飲食店利用支援は、環境が厳しい中で効果があった。</li> <li>✓ 飯豊町商工会さんのお力をお借りしながら、小規模事業者、個人事業主を支えなければならない反面、内部検証の意見にあげられていたようにAmazon等の便利さと魅力には太刀打ちできないのは当然であり、地元での買い物にその視点とは違うメリットや価値をどう創出するか、各ご担当者さまのご苦労がうかがえた。</li> <li>✓ 目標値を達成している。あらたに目標を設定してもよいのでは</li> <li>✓ 町独自でSDGsの推進に取り組んでいる企業を認証する制度はぜひ導入してほしい。</li> <li>✓ 個人的に町内での買い物を増やすようにしている（プレミアム商品券の活用も）。町外の大型店より高いことも多いが、地産地消を推進してきたい。</li> <li>✓ 飲食店利用促進事業は財源的に難しいようだが、できれば半額でなくとも続けられることを期待。</li> <li>✓ 中小企業の補助、商店経営への補助、飲食店利用促進支援、財政が厳しい中ではあるが、ぜひ継続してほしい。</li> </ul>

No.	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 町の産業を更に活性化するため、様々な取組みに期待しています。</li> <li>✓ 補助金等の事業は実施されていると思われる。独自の産業強化や発展したものは何か知りたい。</li> <li>✓ 秋に町民に配布された支援商品券のように、一人ひとりに平等に渡していただいたほうが、購入する格差がなくてよい。</li> <li>✓ 飲食店利用促進の割引率 1/2 は使う側としてはうれしいが、継続が難しいのは明らか。息の長い事業を期待したい。</li> <li>✓ 検討課題を実践しつつ、強化できるように期待しています。</li> </ul>
20	バイオマス産業都市構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 必要な事業だと思うが、令和 4 年度で見れば、当事業は目標指標に掲げた事項の実績では「C」とするべきだと思う。数値目標の指標をもう少し身近なものに変えてはいかがか。</li> <li>✓ 継続して取り組んでほしい。</li> <li>✓ プロジェクト 17 と同様にこれから期待しています。</li> <li>✓ 中津川バイオマスで製材ができるようにならないとなかなかこれからの発展は難しいのではないか</li> <li>✓ 飯豊町の木材を利用したサステイナブルな事業を期待します。</li> <li>✓ 関連性を強め、継続が必要である。</li> <li>✓ 液肥の利用拡大できるよう、実践してほしい。</li> <li>✓ バイオガス発電で作られた電力は非常時に、飯豊町（せめて東部地区）に供給してもらえるのか。</li> </ul>